

| | |
|------|--|
| 受験番号 | |
|------|--|

令和7年普及指導員資格試験

審査課題イ（植物保護）

(注意事項)

- ・試験開始の指示があるまで、この試験問題を開かないこと。
- ・解答時間は、2時間である。
- ・選択問題について、指定された選択数を超えて解答した場合、受験者の解答順に選択数の解答のみを採点する。
- ・答案の作成に当たっては、B以上の濃さの鉛筆又はシャープペンシルを用いて、明瞭に記載すること。
- ・答案用紙は無記名とし、全ての用紙に受験番号と選択項目名を記載すること。
- ・答案用紙は、設問（左上に記載）ごとに、番号（右上に記載）の順に使用すること。
- ・答案用紙の設問1の選択番号欄には、設問より下位の番号を全て記載すること。（例：（1）①）
- ・試験終了後は、白紙のものも含め、全ての答案用紙を回収する。
（ただし、解答を記載した答案用紙のみまとめてクリップで留める）
- ・試験問題にも受験番号を記載すること。

令和7年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

設問1 用語解説問題

次の事項について簡潔に説明しなさい。(各250字程度、全体で1,250字程度)

なお、(1)については、必須課題として二つとも解答し、(2)については用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

- ① 薬剤のローテーション散布
- ② 特定防除資材(特定農薬)

(2) 選択

- ① 農作物のシカ・イノシシ被害と防止対策
- ② 第一次伝染源
- ③ 水田雑草
- ④ 病害虫抵抗性品種
- ⑤ イネカメムシ
- ⑥ 複合交信かく乱剤
- ⑦ 捕食性天敵(生物農薬)を用いた害虫防除

設問2 技術適用力問題

次の設問に解答しなさい。(1,300字程度)

総合防除(IPM)は、予防・判断・防除を組み合わせることで病害虫の発生を抑制する方法です。この中で、予防(病害虫が発生しにくい生産条件の整備)について具体的な方法(技術)を3例挙げて内容を説明しなさい。(600字程度)

また、あなたの地域で実施している総合防除について、作物の対象病害虫・雑草に対する実践例を一つ取り上げて簡潔に説明しなさい。(700字程度)